

都 市 建 設 部

都 市 計 画 課
駅 周 辺 整 備 推 進 室
下 水 道 課
建 築 住 宅 指 導 課
道 路 建 設 課

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		都市計画課		
事業名	202 一般会計繰出金			予算	会計	06 駐車場会計		
					款	02 諸支出金		
					項	01 繰出金		
					目	01 一般会計繰出金		
根拠法令					主な内訳			
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）			顧客（誰を）			
	施策	01 駅周辺・市街地の整備			意図（どのように）			
事業の概要								
事業全体としての課題								
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標							
		年度	平成24年度		平成25年度			
		目標値						
		実績値						
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	15,700	8,675	16,891		
	一般財源	0	0	0				
	実績額計	0	0	15,700	8,675	16,891		
	予算額計	0	0	0	8,675	16,891		
執行率		%	%	%	100%	100%		
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値	
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）		

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		都市計画課	
事業名	408 駐車場管理運営経費			予算	会計	06 駐車場会計	
					款	01 駐車場費	
根拠法令	石岡市駐車場条例				項	01 駐車場管理費	
					目	01 業務管理費	
				主な内訳	委託料		
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	顧客全般		
	施策	01 駅周辺・市街地の整備		意図（どのように）	違法駐車解消と交通事故防止		
事業の概要				石岡駅東市営駐車場の管理運営を行います。			
事業全体としての課題				管理人在中時間が8時～10時、16時～19時までの管理時間のため利用者のサービス低下になっている。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	利用率		1日平均利用台数		%	平成26年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	70	70			
		実績値	69				
事業計画	過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	19,340	22,894	19,804	11,432	4,099	
	一般財源	0	0	0	0	0	
	実績額計	19,340	22,894	19,804	11,432	4,099	
	予算額計	20,795	24,194	19,788	11,941	4,099	
執行率	93%	94.63%	100.08%	95.74%	100%		
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	料金清算システム保守点検回数		駐車場の料金システムの保守点検回数			回	6
	警備回数		駐車場の警備回数			日	365
管理業務回数		駐車場の管理業務回数			日	365	
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
駅周辺の市営駐車場については、高齢化社会を踏まえ、ゆとりある駐車スペースの確保を図り、利用しやすい駐車場を目指します。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		都市計画課		
事業名		174 街路整備事業（単独）		予算	会計	01 一般会計		
根拠法令		都市計画法			款	08 土木費		
					項	04 都市計画費		
					目	02 街路事業費		
				主な内訳		旅費,需用費,負担金補助金及び交付金		
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	顧客全般			
	施策	O3 道路の整備		意図（どのように）	都市計画道路を整備し,円滑な交通体制の確立を図る。			
事業の概要		歩行者等の安全確保や交通渋滞の解消を図り,円滑な交通体系の確立を目的に,都市計画決定された幹線道路の整備及び推進をします。						
事業全体としての課題		交通渋滞を緩和し,歩行者等の安全確保や利便性向上のため都市計画道路の整備を推進します。						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	都市計画道路整備延長		都市計画道路の整備 26路線		m	H26年度	
		年度	平成24年度		平成25年度			
		目標値	66,770		66,770			
		実績値						
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	5,560	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	126	56	48	1,959	222		
	実績額計	126	56	48	7,519	222		
	予算額計	79	71	68	10,068	222		
執行率		159.49%	78.87%	70.59%	74.68%	100%		
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値	
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）		
都市計画道路のなかで,未整備箇所のうち必要性の高いものについては,国の交付金を活用するなどして早期完成させる必要がある。								

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		都市計画課		
事業名		478 合併市町村幹線道路緊急整備支援事業		予算	会計	01 一般会計		
根拠法令		新・合併特例法, 合併市町村幹線道路緊急整備支援事業に関する基本要項			款	08 土木費		
					項	04 都市計画費		
					目	02 街路事業費		
				主な内訳		旅費,需用費,役務費,委託料,工事請負費,公有		
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ(都市基盤)		顧客(誰を)	顧客全般			
	施策	03 道路の整備		意図(どのように)	広域幹線道路を整備し, 地域間のネットワークの形成と, 市外からの一層の交流を促進する。			
事業の概要		新市の一体化の確立や均衡ある発展のため, 市町村建設計画に基づいて実施する道路を, 合併特例債を活用して整備をします。						
事業全体としての課題		合併特例債は, 10ヶ年の起債事業であるため計画的に実施しなければならないです。						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	道路整備延長		合併支援道路整備延長(6路線)		m	平成27年度	
		年度	平成24年度		平成25年度			
		目標値	6,070		6,070			
		実績値						
事業計画		過年度(決算額) 平成21年度	過年度(決算額) 平成22年度	過年度(決算額) 平成23年度	過年度(決算額) 平成24年度	現年度(予算額) 平成25年度		
財源区分	国庫支出金	151,760	441,475	1,002,480	519,287	97,250		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	157,100	263,300	726,400	646,800	85,100		
	その他	0	0	0	42,052	0		
	一般財源	9,854	18,570	67,878	58,193	62,112		
	実績額計	318,714	723,345	1,796,758	1,266,332	244,462		
	予算額計	420,973	1,193,919	1,727,782	1,582,725	244,462		
執行率		75.71%	60.59%	103.99%	80.01%	100%		
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値	
	委託料		合併支援6路線の委託契約件数を目標設定			件	36	
	工事費		合併支援6路線の工事施工延長を目標設定			m	894	
	用地費		合併支援6路線の用地買収面積を目標設定			m ²	14,551	
今後の事業の方向性(改革改善案)						見直し年度(目標年度)		
効率的な国等の補助及び有利な合併特例債を活用し, 目標とする平成27年度完了を目指す。								

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		都市計画課	
事業名		667 国道6号バイパス建設促進事業		予算	会計	01 一般会計	
根拠法令					款	08 土木費	
					項	04 都市計画費	
					目	01 都市計画総務費	
				主な内訳		負担金	
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	道路利用者		
	施策	03 道路の整備		意図（どのように）	バイパスの整備により快適で安全な街づくりをする		
事業の概要		市内の交通渋滞を解消し、快適で安全な街づくりのため、国道6号バイパスの早期実現を目指し、事業促進に向け要望活動や広報活動を行います。					
事業全体としての課題		国、県とも財政状況が厳しく、国道6号千代田石岡バイパス事業の進捗が遅れています。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	事業化区間の事業進捗率		執行額/全体事業		%	平成26年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	100		100		
		実績値					
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	102	0	0	
	一般財源	389	367	296	366	386	
	実績額計	389	367	398	366	386	
	予算額計	450	415	398	386	386	
執行率		86.44 %	88.43 %	100 %	94.82 %	100 %	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	広報紙の発行		広報紙「6号バイパス」の発行			回	1
	国に対する要望活動		国土交通省、国会議員への要望活動			回	1
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
今後も国道6号千代田石岡バイパスの一日も早い完成に向け、活動を実施していきます。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		都市計画課	
事業名		63 都市計画審議会経費		予算	会計	01 一般会計	
根拠法令		都市計画法, 都市計画審議会条例			款	08 土木費	
					項	04 都市計画費	
					目	01 都市計画総務費	
				主な内訳		報酬	
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ(都市基盤)		顧客(誰を)	市民, 地権者		
	施策	O4 計画的な土地利用の推進		意図(どのように)	都市計画法によりその権限に属せられた事項の調査審議等を行います。		
事業の概要		都市計画決定の手続きのなかで, 案件を審議会に付議, 諮問し, 審議会の議決, 意見を求める。					
事業全体としての課題		特になし。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	都市計画審議会の開催回数		年度における都市計画審議会の開催回数		回	平成26年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	2	2			
		実績値	3				
事業計画		過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	216	64	152	234	307	
	実績額計	216	64	152	234	307	
	予算額計	216	64	153	277	307	
執行率		100%	100%	99.35%	84.48%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	都市計画審議会の運営		都市計画審議会の開催回数を指標とする			回	
今後の事業の方向性(改革改善案)						見直し年度(目標年度)	
都市の健全な発展と秩序ある整備を図るための都市計画法に基づく審議会であり, 都市計画法, 条例に基づき適正に運営していきます。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		都市計画課		
事業名	276 都市計画一般経費			予算	会計	01 一般会計		
					款	08 土木費		
					項	04 都市計画費		
					目	01 都市計画総務費		
根拠法令	都市計画法,茨城県屋外広告物条例			主な内訳				
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ(都市基盤)		顧客(誰を)	一般市民			
	施策	O4 計画的な土地利用の推進		意図(どのように)	土地利用の効率性の向上を図ります。			
事業の概要				人口、土地利用、建物、都市施設などの現況を調査し、その動向を把握し、より効率の良い街づくりを目指し、地域地区や都市施設などの都市計画決定(変更)を行います。景観や良好な都市環境を維持するため、景観条例の適切な運用を図り、景観に関する施策や屋外広告物に関する事務を遂行します。				
事業全体としての課題				高齢化や人口減少などの情勢変化に対応した都市計画の運用を検討しなければなりません。屋外広告物については、違反広告物が数多くあり、更なる指導が必要です。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	市街化区域内土地利用		市街化区域における土地利用		%	平成26年度	
		年度	平成24年度	平成25年度				
		目標値	75	75				
		実績値	78					
事業計画		過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)		
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	4,460	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	648	1,797	1,114		
	一般財源	2,719	14,839	7,350	2,728	716		
	実績額計	2,719	14,839	12,458	4,525	1,830		
	予算額計	2,719	14,839	12,458	4,972	1,830		
執行率		100%	100%	100%	91.01%	100%		
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値	
	屋外広告物の是正指導		屋外広告物の許可件数を指標とする			件		
今後の事業の方向性(改革改善案)						見直し年度(目標年度)		
都市計画マスタープランに基づき、土地利用の効率化を進めていきます。屋外広告物に対する指導をさらに強化し、適切な設置を進めていきます。景観計画に基づき、良好な景観の保全に努めていきます。								

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		都市計画課	
事業名		572 公園維持管理経費		予算	会計	01 一般会計	
根拠法令		都市公園法, 石岡市都市公園条例			款	08 土木費	
					項	04 都市計画費	
					目	03 公園事業費	
				主な内訳		委託料	
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ(都市基盤)		顧客(誰を)	公園施設等利用者		
	施策	O6 公園・緑地の整備		意図(どのように)	利用者が安心して安全にくつろげる憩いの場を提供する。		
事業の概要		利用者が安心して安全にくつろげる憩いの場として公園維持管理を行います。					
事業全体としての課題		公園は、利用者のみならず地域住民にとって、環境や防災の面から多くのメリットがあるため、公園管理について、行政、地域住民、ボランティア等と安全な環境整備体制が必要です。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	公園里親制度への加入団体数		加入団体数		団体	平成27年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	6	6			
	実績値	6					
事業計画		過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
財源区分	国庫支出金	47,000	0	0	1,544	3,990	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	2,065	0	2,084	2,603	2,566	
	一般財源	77,845	48,144	46,789	49,881	49,547	
	実績額計	126,910	48,144	48,873	54,028	56,103	
	予算額計	128,856	50,010	48,873	54,535	56,103	
執行率		98.49%	96.27%	100%	99.07%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	施設清掃・管理・保守点検回数		清掃・管理・保守保安業務(ステーション他)週6日(月~土)			日	311
	施設夜間警備回数		夜間警備業務			回	1,095
機械器具等保守点検回数		ステーションパーク・駅東口交通広場駐車場保守点検及び機械警備業務			回	12	
今後の事業の方向性(改革改善案)						見直し年度(目標年度)	
公園長寿命化計画を策定し、予防保全型維持管理への転換を積極的に図る。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		駅周辺整備推進室	
事業名	6539 石岡駅周辺整備事業			予算	会計	01 一般会計	
					款	08 土木費	
根拠法令					項	04 都市計画費	
					目	01 都市計画総務費	
				主な内訳	橋上化整備委託料・駅前広場整備工事費他		
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	石岡駅・バス利用者・中心市街地への来訪者		
	施策	O1 駅周辺・市街地の整備		意図（どのように）			
事業の概要				石岡市中心市街地活性化基本計画に基づき、石岡駅橋上化や東西自由通路、西口駅前広場とBRTターミナル等の石岡駅周辺整備をします。			
事業全体としての課題				石岡駅周辺整備（駅橋上化、駅東西自由通路、駅西口駅前広場、BRTターミナル、鹿島鉄道跡地利用等）を進める上で、交付金等事業費の確保が必要です。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	駅周辺施設のバリアフリー化		駅舎、自由通路のバリアフリー化率		%	26
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	100	100			
		実績値	0				
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	3,300	95,905	620,460	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	10,400	253,000	
	その他	0	0	0	0	505,000	
	一般財源	19,963	14,586	92,889	8,787	2,638	
	実績額計	19,963	14,586	96,189	115,092	1,381,098	
	予算額計	20,910	14,755	337,724	300,767	1,381,098	
執行率		95.47%	98.85%	28.48%	38.27%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	駅橋上化・自由通路実施設計		駅橋上化・自由通路設計			m	
	実施設計委託料		BRTターミナル実施設計 西口駅前広場実施設計			m	
測量設計・補償調査		用地測量 補償調査			m	5,890	
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
駅舎や駅前広場の既存施設を利用しながら整備するため、利用者に出来るだけ影響がないように整備工事を進めます。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		駅周辺整備推進室	
事業名	6892 駅周辺整備基金費			予算	会計	01 一般会計	
	根拠法令				款	13 諸支出金	
			項		01 基金費		
			目		05 駅周辺整備基金費		
				主な内訳	駅周辺整備基金		
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	石岡駅・バス利用者・中心市街地への来訪者		
	施策	01 駅周辺・市街地の整備		意図（どのように）			
事業の概要				石岡市中心市街地活性化基本計画に基づき、石岡駅橋上化や東西自由通路、西口駅前広場とBRTターミナル等の石岡駅周辺整備をします。			
事業全体としての課題				石岡駅周辺整備（駅橋上化、東西自由通路、西口駅前広場、BRTターミナル等）を進める上で、基金の確保が必要です。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	駅周辺施設のバリアフリー化		駅舎、東西自由通路のバリアフリー化率		%	26
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	100	100			
		実績値	0				
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	2,625	2,623	
	一般財源	446,211	20,647	20,909	8,675	16,891	
	実績額計	446,211	20,647	20,909	11,300	19,514	
	予算額計	446,211	20,647	18,241	11,282	19,514	
執行率		100%	100%	114.63%	100.16%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	石岡駅周辺整備		駅周辺整備			m	0
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
事業費で交付金や起債等を活用していきますが、単年度で一財の負担が多くならないよう、基金の活用また積立をしていきます。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		下水道課	
事業名		91 流域関連公共下水道整備事業（補助）		予算	会計	05 下水道事業会計	
根拠法令		下水道法・下水道法施行令・石岡市下水道条例			款	01 下水道費	
					項	02 下水道建設費	
					目	01 流域関連公共下水道整備事業費	
				主な内訳		旅費、需用費、役務費、工事請負費、備品購入	
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	下水道計画区域の市民		
	施策	05 下水道の整備		意図（どのように）	生活環境の改善		
事業の概要		下水道管渠の整備を計画的に実施することで、生活環境の改善、霞ヶ浦の浄化を図ります。					
事業全体としての課題		下水道供用開始区域において、未接続の家庭が残っていることから、下水道接続への啓発を積極的に取り組む必要があります。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	生活排水処理総合普及率		処理区域人口／行政人口 処理区域人口：下水道、農業集落排水、合併浄化槽処理人口		%	平成37年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	100	100			
		実績値	75.94				
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	84,100	31,432	8,626	21,222	18,060	
	県支出金	0	1,500	0	0	0	
	地方債	75,700	28,153	59,100	32,265	15,800	
	その他	0	0	4,609	105	3,061	
	一般財源	8,575	2,525	0	0	0	
	実績額計	168,375	63,610	72,335	53,592	36,921	
	予算額計	168,375	63,610	72,335	62,890	36,921	
執行率		100%	100%	100%	85.21%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	下水道の整備		下水道面整備の実施			ha	4.5
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
限られた財源を有効に活用し下水道未普及地域の解消を図って行く。						平成37年度	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		下水道課		
事業名	92 使用料徴収経費			予算	会計	08 農業集落排水事業会計		
					款	01 農業集落排水事業費		
					項	01 農業集落排水事業管理費		
					目	02 農業集落排水事業維持費		
根拠法令		農業集落排水処理施設条例, 同 規則		主な内訳		委託料・公課費		
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ(都市基盤)		顧客(誰を)	農業集落排水使用者			
	施策	05 下水道の整備		意図(どのように)	口座引落し、納付書			
事業の概要		農業集落排水使用料賦課徴収						
事業全体としての課題		過年度分の収納率が上がらない。						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標							
		年度	平成24年度		平成25年度			
		目標値	0		0			
	実績値							
事業計画		過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)		
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	2		
	一般財源	3,263	5,163	8,185	7,500	8,578		
	実績額計	3,263	5,163	8,185	7,500	8,580		
	予算額計	3,263	5,163	8,648	7,794	8,580		
執行率		100%	100%	94.65%	96.23%	100%		
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値	
今後の事業の方向性(改革改善案)						見直し年度(目標年度)		
収納率向上のため滞納者に対し戸別訪問等を実施し収納率の向上に努める。						平成37年度		

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		下水道課		
事業名	100 流域関連公共下水道一般管理運営経費			予算	会計	05 下水道事業会計		
					款	01 下水道費		
					項	01 下水道管理費		
					目	01 下水道総務費		
根拠法令	下水道事業受益者負担金に関する条例同施行規則			主な内訳	負担金補助及び負担金			
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	下水道整備区域、下水道利用者			
	施策	05 下水道の整備		意図（どのように）	説明会の実施、滞納整理により収納率の向上。			
事業の概要				公共下水道に係る事業に要する費用の一部に充てる為、受益者負担金の徴収を行います。				
事業全体としての課題				過年度賦課分については、所有権の移転等により、納入義務者が変わっている場合もあり、効率的収納を実現しなければならないです。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	収納率		収納額÷負担金調定額		%	27	
		年度	平成24年度	平成25年度				
		目標値	60	60				
		実績値	52					
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	2,072	2,030	2,415		
	一般財源	2,094	2,113	0		0		
	実績額計	2,094	2,113	2,072	2,030	2,415		
	予算額計	2,094	2,113	2,515	2,476	2,415		
執行率		100%	100%	82.39%	81.99%	100%		
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値	
	地元説明会		負担金地元説明会			回	2	
	収納率		負担金収納率			%	52	
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）		
収納率向上のため滞納者に対し戸別訪問等を実施し収納率の向上に努める。						平成37年度		

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		下水道課	
事業名		195 下水道ポンプ・管きよ維持管理経費		予算	会計	05 下水道事業会計	
根拠法令		市下水道条例, 同施行規則, 下水道法			款	01 下水道費	
					項	01 下水道管理費	
					目	03 公共下水道維持費	
				主な内訳		委託料	
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ(都市基盤)		顧客(誰を)	施設等利用者		
	施策	05 下水道の整備		意図(どのように)			
事業の概要				下水道施設(公共下水道処理場・中継ポンプ場・マンホールポンプ)の適正な維持管理をします。			
事業全体としての課題				汚水処理場・ポンプ場が、供用開始後10年が経過し、経年劣化が目立ってきています。計画的で効果的な修繕計画を図らなければなりません。細やかな維持管理をして、機器別の健全度・劣化予測をし、効果的な長寿命化を行います。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	生活排水処理総合普及率		処理区域人口÷行政人口 処理区域内人口：下水道、農集排、合併浄化槽処理人口		%	H26年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	76.2	76.2			
		実績値	78.1				
事業計画		過年度(決算額) 平成21年度	過年度(決算額) 平成22年度	過年度(決算額) 平成23年度	過年度(決算額) 平成24年度	現年度(予算額) 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	108,171	106,980	113,136	
	一般財源	108,546	112,461	0	13,667	18,173	
	実績額計	108,546	112,461	108,171	120,647	131,309	
	予算額計	116,418	114,487	108,171	121,714	131,309	
執行率		93.24%	98.23%	100%	99.12%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	機械器具等保守点検回数		下水道台帳システムの保守点検の実施			回	1
	ポンプ場運転管理・施設清掃回数		ポンプ場内の維持管理、清掃の実施			回	12
	電気設備保守保安回数		処理場の電気設備の法定点検の実施			回	12
今後の事業の方向性(改革改善案)						見直し年度(目標年度)	
限られた財源を有効に活用し、下水道維持管理を行う。						平成26年度	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		下水道課		
事業名		197 出し山地区施設等維持管理経費		予算	会計	08 農業集落排水事業会計		
根拠法令					款	01 農業集落排水事業費		
					項	01 農業集落排水事業管理費		
					目	02 農業集落排水事業維持費		
				主な内訳		需用費、委託費		
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまち ハ（都市基盤）		顧客 (誰を)	出し山地区農集排使用者			
	施策	05 下水道の整備		意図 (どのように)	農集排出し山地区の施設を適正に維持管理する。			
事業の概要		処理場、マンホールポンプの適正な維持管理						
事業全体としての課題		限られた予算のなかで、老朽化している施設の修繕を行わなくてはならないです。						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	汚水中継ポンプ等施設維持管理				毎日	日	27
		年度	平成24年度		平成25年度			
		目標値	365		365			
		実績値	365					
事業計画		過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)		
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	4,868	4,693	5,260		
	一般財源	9,104	7,570	4,320	6,058	5,805		
	実績額計	9,104	7,570	9,188	10,751	11,065		
	予算額計	9,104	7,570	9,510	10,751	11,065		
執行率		100%	100%	96.61%	100%	100%		
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値	
	処理場夜間警備回数		処理場夜間警備			日	365	
	処理場運転管理・施設清掃		処理場運転管理・施設清掃			日	365	
	マンホールポンプ場運転管理・施設清掃		マンホールポンプ場運転管理・施設清掃			回	4	
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）		
一層の接続率向上に努める。 厳しい財政状況を鑑み、機器の適正な維持管理を推進し、処理施設の長寿命化を図る。						平成37年度		

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		下水道課	
事業名		198 恋瀬地区整備事業		予算	会計	08 農業集落排水事業会計	
根拠法令		農業集落排水処理施設条例, 同規則			款	01 農業集落排水事業費	
					項	02 農業集落排水事業建設費	
					目	01 農業集落排水事業建設費	
				主な内訳		工事請負費	
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ(都市基盤)		顧客(誰を)	農業集落排水事業恋瀬地区の事業同意者(受益者)		
	施策	05 下水道の整備		意図(どのように)			
事業の概要				農業集落排水事業の整備を計画的に実施することで、生活環境の改善、霞ヶ浦の浄化を図ります。			
事業全体としての課題				事業期間と経済性を考慮した結果、処理場の建設を中止し公共下水道に接続することとなりました。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	生活排水処理総合普及率		処理区域人口/行政人口 処理区域人口: 下水道, 農業集落排水, 合併浄化槽処理人口		%	平成37年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	100		100		
		実績値					
事業計画		過年度(決算額) 平成21年度	過年度(決算額) 平成22年度	過年度(決算額) 平成23年度	過年度(決算額) 平成24年度	現年度(予算額) 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	21,600	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	19,500	0	7,400	37,700	75,900	
	その他	0	0	2,550	20,769	7,447	
	一般財源	2,275	180	0	0	3	
	実績額計	43,375	180	9,950	58,469	83,350	
	予算額計	43,375	180	9,950	59,490	83,350	
執行率		100%	100%	100%	98.28%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	管渠の整備		計画延長 L=8,675m H23変更 L=8,403m			m	8,273
今後の事業の方向性(改革改善案)						見直し年度(目標年度)	
限られた財源を有効活用し、早期供用開始を目指す。						平成25年10月供用開始	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		下水道課	
事業名		310 水洗化普及促進事業		予算	会計	05 下水道事業会計	
根拠法令		石岡市下水道条例			款	01 下水道費	
					項	01 下水道管理費	
					目	04 水洗化普及費	
				主な内訳		負担金補助及び交付金	
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	下水道供用開始区域内未接続者		
	施策	05 下水道の整備		意図（どのように）	供用開始3年以内の下水道接続者へ、最大4万円の補助をします。		
事業の概要		下水道普及促進していきます。					
事業全体としての課題		水洗化普及率の更なる向上を目指します。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	下水道普及率		下水道接続人数÷供用開始区域内人口		%	27
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	85	85			
		実績値	80				
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	1,200	1,200	1,000	580	1,200	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	546	670	1,296	
	一般財源	1,300	1,295	1,000	0	0	
	実績額計	2,500	2,495	2,546	1,250	2,496	
	予算額計	2,500	2,495	3,102	2,496	2,496	
執行率		100%	100%	82.08%	50.08%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
水洗化普及率の更なる向上を目指します。						平成37年度	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		下水道課		
事業名	311 流域関連公共下水道整備事業（単独）			予算	会計	05 下水道事業会計		
					款	01 下水道費		
					項	02 下水道建設費		
					目	01 流域関連公共下水道整備事業費		
根拠法令	下水道法・下水道法施行令・石岡市下水道条例			主な内訳	需用費，委託料，工事請負費，補償補填及び賠			
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	下水道計画区域の市民			
	施策	05 下水道の整備		意図（どのように）	生活環境の改善			
事業の概要				下水道管渠の整備を計画的に実施することで，生活環境の改善，霞ヶ浦の浄化を図ります。				
事業全体としての課題				下水道供用開始区域において，未接続の家庭が残っていることから，下水道接続への啓発を積極的に取り組む必要があります。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	生活排水処理総合普及率		処理区域人口／行政人口 処理区域人口：下水道，農業集落排水，合併浄化槽処理人口		%	平成37年度	
		年度	平成24年度	平成25年度				
		目標値	100	100				
		実績値	75.94					
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	3,300	1,500	1,100	0	0		
	地方債	131,404	65,900	54,200	24,200	15,800		
	その他	0	0	8,820	15,714	12,837		
	一般財源	7,089	5,873	0	0	0		
	実績額計	141,793	73,273	64,120	39,914	28,637		
	予算額計	141,793	73,273	64,120	50,527	28,637		
執行率	100%	100%	100%	79.00%	100%			
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値	
	下水道の整備		下水道面整備の実施			ha	4.5	
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）		
限られた財源を有効に活用し下水道未普及地域の解消を図っていく。						平成37年度		

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		下水道課		
事業名		312 流域関連公共下水道整備事業（単独・雨水）		予算	会計	05 下水道事業会計		
根拠法令		下水道法・下水道法施行令・石岡市下水道条例			款	01 下水道費		
					項	02 下水道建設費		
					目	01 流域関連公共下水道整備事業費		
				主な内訳		委託料, 工事請負費		
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	下水道計画区域の市民			
	施策	05 下水道の整備		意図（どのように）	生活環境の改善			
事業の概要				平成10年度より山王川を公共下水道雨水幹線と位置づけ、浸水被害が頻繁に発生していた石岡駅東地区から整備を進めています。浸水多発箇所（石岡駅東地区）の整備が完了したことにより、現在は事業を休止しています。				
事業全体としての課題				限られた財源を有効に活用し、効率的な維持管理を行っていく必要があります。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	雨水幹線の整備		認可延長		m	平成37年度	
		年度	平成24年度		平成25年度			
		目標値	6,300		6,300			
		実績値						
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	2,494	1,565	9,744		
	一般財源	2,497	2,773	0	0	0		
	実績額計	2,497	2,773	2,494	1,565	9,744		
	予算額計	2,497	2,773	2,494	2,900	9,744		
執行率		100%	100%	100%	53.97%	100%		
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値	
	山王川除草作業の実施		除草の実施 2回/年			回	2	
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）		
効率的な維持管理を行っていく。						平成37年度		

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		下水道課	
事業名	316 公共下水道整備事業（単独）			予算	会計	05 下水道事業会計	
					款	01 下水道費	
					項	02 下水道建設費	
					目	02 公共下水道整備事業費	
根拠法令		下水道法・下水道法施行令・石岡市下水道条例		主な内訳		需用費，委託料，工事請負費，補償費	
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	下水道計画区域の市民		
	施策	05 下水道の整備		意図（どのように）	生活環境の改善		
事業の概要				下水道管渠の整備を計画的に実施することで、生活環境の改善、霞ヶ浦の浄化を図ります。			
事業全体としての課題				下水道供用開始区域において、未接続の家庭が残っていることから、下水道への啓発を積極的に取り込む必要があります。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	生活排水処理総合普及率		処理区域人口／行政人口 処理区域人口：下水道，農業集落排水，合併浄化槽処理人口		%	平成37年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	100	100			
		実績値	75.94				
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	6,900	19,900	64,600	
	その他	0	0	1,292	32,573	17,528	
	一般財源	0	0	0	0	0	
	実績額計	0	0	8,192	52,473	82,128	
	予算額計	0	0	8,192	59,301	82,128	
執行率		%	%	100 %	88.49%	100 %	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	下水道の整備		下水道面整備の実施			ha	6.4
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
限られた財源を有効に活用し下水道未普及地域の解消を図っていく。						平成37年度	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		下水道課	
事業名		318 公共下水道一般管理運営経費		予算	会計	05 下水道事業会計	
根拠法令		下水道事業受益者負担金に関する条例同施行規則, 都市計画法			款	01 下水道費	
					項	01 下水道管理費	
					目	01 下水道総務費	
				主な内訳		負担金補助及び交付金	
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ (都市基盤)		顧客 (誰を)	下水道整備区域, 下水道利用者		
	施策	05 下水道の整備		意図 (どのように)			
事業の概要				都市計画事業として執行する公共下水道に係る事業に要する費用の一部に充てるため, 受益者負担金の徴収と, 下水道使用料の賦課徴収を行います。			
事業全体としての課題				過年度賦課分については, 不良債権化しているケースがあります。計画的・効率的収納を実現しなければなりません。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	生活排水処理総合普及率		処理区域人口÷行政人口 処理区域内人口: 下水道, 農集排, 合併浄化槽処理人口		%	平成26年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	76.2	76.2			
		実績値	78.1				
事業計画		過年度 (決算額) 平成21年度	過年度 (決算額) 平成22年度	過年度 (決算額) 平成23年度	過年度 (決算額) 平成24年度	現年度 (予算額) 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	2,573	2,981	1	
	一般財源	3,776	3,775	0	0	3,360	
	実績額計	3,776	3,775	2,573	2,981	3,361	
	予算額計	4,237	4,070	2,573	2,993	3,361	
執行率		89.12 %	92.75 %	100 %	99.60 %	100 %	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	地元説明会開催回数		供用開始地区の住民を対象に説明会を実施する。			回	2
	使用料納付書作成回数		下水道使用料の納付書を作成送付する。			件	5,633
	負担金納付書作成回数		下水道負担金の納付書を作成送付する。			件	167
今後の事業の方向性 (改革改善案)						見直し年度 (目標年度)	
収納率向上のため未納者に対し個別訪問などを実施し, 収納率の向上に努める。						平成37年度	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		下水道課		
事業名	379 特別会計繰出金			予算	会計	01 一般会計		
根拠法令					款	06 農林水産業費		
					項	01 農業費		
					目	05 農地費		
				主な内訳	繰出金			
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまち へ(都市基盤)		顧客 (誰を)	農業集落排水受益者			
	施策	05 下水道の整備		意図 (どのように)	特別会計の安定的な事業運営のため、財政支援を します。			
事業の概要				農業集落排水事業特別会計の財政的安定を図るため、一般会計から資金を繰出して、安定した事業運営に資します。				
事業全体としての課題				人口の減少傾向や少子高齢化に伴い接続率が低いため、維持費の充当財源である農集使用料も伸び悩んでいます。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標							
		年度	平成24年度		平成25年度			
		目標値						
		実績値						
事業計画		過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)		
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	267,000	226,301	217,766		
	実績額計	0	0	267,000	226,301	217,766		
	予算額計	0	0	267,000	236,302	217,766		
執行率		%	%	100%	95.76%	100%		
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値	
今後の事業の方向性(改革改善案)						見直し年度(目標年度)		
限られた予算の中で、地域の実情に合わせた汚水処理施設を整備し、生活環境の改善に努めていきたい。						平成37年度		

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		下水道課		
事業名	403 下水道ポンプ・管きょ維持管理経費			予算	会計	05 下水道事業会計		
					款	01 下水道費		
根拠法令	市下水道条例, 同施行規則, 下水道法				項	01 下水道管理費		
					目	02 流域関連公共下水道維持費		
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ(都市基盤)		顧客(誰を)	下水道使用者			
	施策	05 下水道の整備		意図(どのように)	効率的な施設維持管理。			
事業の概要				中継ポンプ場, マンホールポンプの適正な維持管理				
事業全体としての課題				限られた予算のなかで, 老朽化している施設の修繕を行わなくてはならないです。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	汚水中継ポンプ等施設維持管理				毎日	日	27
		年度	平成24年度		平成25年度			
		目標値	365		365			
		実績値	365					
事業計画		過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)		
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	299,084	277,884	291,770		
	一般財源	228,639	248,293	0		8		
	実績額計	228,639	248,293	299,084	277,884	291,778		
	予算額計	228,639	248,293	302,222	296,512	291,778		
執行率		100%	100%	98.96%	93.72%	100%		
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値	
	施設夜間警備回数		中継ポンプ場夜間警備			日	365	
	ポンプ場運転管理・施設清掃		中継ポンプ場運転管理・施設清掃			日	365	
電気設備保守保安回数		ポンプ場電気設備保守保安回数			回	12		
今後の事業の方向性(改革改善案)						見直し年度(目標年度)		
適切かつ効果的で細やかな維持管理をしていきます。また、限られた予算のなかで、老朽化している施設の修繕を行わなくてはならない。						平成37年度		

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		下水道課		
事業名		404 石岡西部地区施設等維持管理経費		予算	会計	08 農業集落排水事業会計		
根拠法令					款	01 農業集落排水事業費		
					項	01 農業集落排水事業管理費		
					目	02 農業集落排水事業維持費		
				主な内訳		需用費, 委託料		
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまち へ(都市基盤)		顧客 (誰を)	石岡西部地区農集排使用者			
	施策	05 下水道の整備		意図 (どのように)	農集排石岡西部地区の施設を適正に維持管理する 。			
事業の概要		長期的・効率的な視点で、維持管理を進めていきます。						
事業全体としての課題		整備が終了し接続世帯が増えるなかで、効率的な維持管理をおこなって行かなければならないです。						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	処理場、中継ポンプ等施設維持管理		毎日		日	27	
		年度	平成24年度		平成25年度			
		目標値	365		365			
		実績値	365					
事業計画		過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)		
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	4,368	7,555	5,284	7,343	6,728		
	一般財源	0	0	1,721	1,575	1,657		
	実績額計	4,368	7,555	7,005	8,918	8,385		
	予算額計	4,368	7,555	8,405	9,706	8,385		
執行率		100%	100%	83.34%	91.88%	100%		
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値	
	処理場夜間警備回数		処理場夜間警備			日	365	
	処理場運転管理・施設清掃		処理場運転管理・施設清掃			日	365	
	電気設備保守保安回数		処理場電気設備保守保安回数			回	12	
今後の事業の方向性(改革改善案)						見直し年度(目標年度)		
厳しい財政状況を鑑み、器機の適正な維持管理を推進し処理施設の長寿命化を図る。						平成37年度		

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		下水道課	
事業名	505 使用料徴収経費			予算	会計	05 下水道事業会計	
					款	01 下水道費	
					項	01 下水道管理費	
					目	02 流域関連公共下水道維持費	
根拠法令		市下水道条例、同施行規則、下水道法		主な内訳	委託料		
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	下水道利用者		
	施策	05 下水道の整備		意図（どのように）	流域関連下水道使用料の収納率の向上		
事業の概要		下水道維持管理費用に充てる為、使用料の徴収を行います。公平な負担を図る為、より実効性のある上下水道使用料一元化をH20年度から実施しています。					
事業全体としての課題		過年度分の徴収率が上がらない。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値					
		実績値					
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	31,045	31,419	31,732	32,379	21,965	
	一般財源	0	0	0		0	
	実績額計	31,045	31,419	31,732	32,379	21,965	
	予算額計	31,045	31,419	32,930	32,930	21,965	
執行率		100%	100%	96.36%	98.33%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	使用料収納率		使用料収納額÷使用料調定額（滞納繰越含む） 使用料の収納率を上げることにより、維持管理の安定的な財源を確保する。			%	75
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
収納率向上のため滞納者に対し戸別訪問等を実施し収納率の向上に努めます。						平成37年度	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		下水道課	
事業名		506 関川地区施設等維持管理経費		予算	会計	08 農業集落排水事業会計	
根拠法令					款	01 農業集落排水事業費	
					項	01 農業集落排水事業管理費	
					目	02 農業集落排水事業維持費	
				主な内訳		需用費、委託費	
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	関川地区農集排水使用者		
	施策	05 下水道の整備		意図（どのように）	農業排関川地区の施設を適正に維持管理する。		
事業の概要		長期的・効率的な視点で、維持管理を進めていきます。					
事業全体としての課題		限られた予算のなかで、老朽化している施設の修繕を行わなくてはならないです。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	処理場、中継ポンプ等施設維持管理		毎日		日	27
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	365	365			
		実績値	365				
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	10,447	10,152	10,760	
	一般財源	12,351	10,360	1,359	3,481	5,064	
	実績額計	12,351	10,360	11,806	13,633	15,824	
	予算額計	12,351	10,360	12,340	13,633	15,824	
執行率		100%	100%	95.67%	100%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	処理場夜間警備回数		処理場夜間警備			日	365
	処理場運転管理・施設清掃		処理場運転管理・施設清掃			日	365
	電気設備保守保安回数		処理場電気設備保守保安回数			回	12
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
厳しい財政状況を鑑み、機器の適正な維持管理を推進し、処理施設の長寿命化を図る。						平成37年度	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		下水道課	
事業名		507 東成井地区施設等維持管理経費		予算	会計	08 農業集落排水事業会計	
根拠法令		農業集落排水処理施設条例, 同 規則			款	01 農業集落排水事業費	
					項	01 農業集落排水事業管理費	
					目	02 農業集落排水事業維持費	
				主な内訳			
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ(都市基盤)		顧客(誰を)	農業集落排水事業東成井地区の施設利用者		
	施策	05 下水道の整備		意図(どのように)			
事業の概要		細やかな維持管理をして、機器別の対応年数を少しでも延長、又は更新を行います。					
事業全体としての課題		<p>農集排受益者の各戸人員が少子高齢化により、減少傾向です。汚水処理場・マンホール等、供用開始から10年以上が経過し、経年劣化が発生しています。</p> <p>細やかな維持管理をして、機器別の対応年数を少しでも延長できる様、計画します。</p>					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	生活排水処理総合普及率		処理区域人口÷行政人口 処理区域内人口：下水道、農集排、合併浄化槽処理人口		%	平成26年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	75	75			
	実績値	78					
事業計画		過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	700	700	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	32,899	17,398	17,404	
	一般財源	20,566	36,269	0	16,700	26,122	
	実績額計	20,566	36,269	32,899	34,798	44,226	
	予算額計	23,145	39,130	32,899	34,798	44,226	
執行率		88.86%	92.69%	100%	100%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	植栽管理回数		維持管理組合で処理場内の植栽管理を行う(東成井・東成井第2)			回	4
	電気設備保守保安		処理場の電気設備の法定点検			回	12
農業集落排水施設管理		処理施設の維持管理を行うことにより放流水質の安定を図ります			回	104	
今後の事業の方向性(改革改善案)						見直し年度(目標年度)	
施設の老朽化が進む中、限りある財源の有効活用をすることで、計画的な施設修繕をしていく。						平成29年度	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		下水道課	
事業名		508 出し山地区整備事業		予算	会計	08 農業集落排水事業会計	
根拠法令					款	01 農業集落排水事業費	
					項	02 農業集落排水事業建設費	
					目	01 農業集落排水事業建設費	
				主な内訳		工事請負費	
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	出し山地区新規加入者		
	施策	05 下水道の整備		意図（どのように）	汚水樹を設置します。		
事業の概要		新規加入者があった場合、汚水樹設置を行います。					
事業全体としての課題		分家住宅等新規加入者があった場合、樹設置工事を行わなければならないです。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	樹設置工事		新規加入者		件	27
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	2	2			
		実績値	0				
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	279	
	一般財源	0	13,127	220	0	108	
	実績額計	0	13,127	220	0	387	
	予算額計	0	13,127	408	387	387	
執行率		%	100 %	53.92 %	0 %	100 %	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	樹設置工事		新規加入世帯樹設置工事			件	0
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
農集出し山地区の分家に伴う新規加入者から分担金を納めていただき、樹設置工事を速やかに行います。						平成37年度	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		下水道課		
事業名	511 流域下水道事業			予算	会計	05 下水道事業会計		
					款	01 下水道費		
					項	02 下水道建設費		
					目	03 流域下水道事業費		
根拠法令	下水道法・下水道法施行令・石岡市下水道条例			主な内訳	負担金補助及び交付金			
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	下水道計画区域の市民			
	施策	05 下水道の整備		意図（どのように）	生活環境の改善			
事業の概要				下水道管渠を計画的に整備することで、生活環境の改善、霞ヶ浦の浄化を図ります。				
事業全体としての課題				流域下水道の処理施設及び管渠等の大幅な施設更新工事を行った場合の市町村負担金の増加する可能性があります。				
成果指標	項目	指標名			指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	生活排水処理総合普及率			処理区域人口／行政人口 処理区域人口：下水道，農業集落排水，合併浄化槽処理人口		%	平成37年度
		年度	平成24年度		平成25年度			
		目標値	100		100			
		実績値	75.94					
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	16,500	17,600	29,400	67,400	40,300		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	933	2,991	4,580	405	803		
	実績額計	17,433	20,591	33,980	67,805	41,103		
	予算額計	17,433	20,591	33,980	130,863	41,103		
執行率		100%	100%	100%	51.81%	100%		
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	下水道の整備		下水道面整備の実施				ha	4.5
今後の事業の方向性（改革改善案）							見直し年度（目標年度）	
流域下水道の処理施設及び管渠施設建設工事費等を流域内市町村で負担して行く。							平成37年度	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		下水道課	
事業名		606 公共下水道整備事業（補助）		予算	会計	05 下水道事業会計	
根拠法令		下水道法・下水道法施行令・石岡市下水道条例			款	01 下水道費	
					項	02 下水道建設費	
					目	02 公共下水道整備事業費	
				主な内訳		需用費, 役務費, 委託料, 工事請負費	
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	下水道計画区域の市民		
	施策	05 下水道の整備		意図（どのように）	生活環境の改善		
事業の概要		下水道管渠及び処理場整備を計画的に実施することで、生活環境の改善、霞ヶ浦の浄化を図ります。					
事業全体としての課題		下水道供用開始区域において、未接続の家庭が残っていることから、下水道接続への啓発を積極的に取り組む必要があります。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	生活排水処理総合普及率		処理区域人口／行政人口 処理区域人口：下水道、農業集落排水、合併浄化槽処理人口		%	平成37年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	100		100		
		実績値	75.94				
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	84,100	176,456	75,856	147,802	99,319	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	75,700	57,100	90,900	150,300	89,300	
	その他	0	0	10,628	15,496	11,771	
	一般財源	8,596	13,821	0	0	0	
	実績額計	168,396	247,377	177,384	313,598	200,390	
	予算額計	168,396	247,377	177,384	321,509	200,390	
執行率		100%	100%	100%	97.54%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	下水道の整備		下水道面整備の実施			ha	6.4
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
限られた財源を有効に活用し下水道未普及地域の解消を図って行く。						平成37年度	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		下水道課		
事業名		607 関川地区整備事業		予算	会計	08 農業集落排水事業会計		
根拠法令					款	01 農業集落排水事業費		
					項	02 農業集落排水事業建設費		
					目	01 農業集落排水事業建設費		
				主な内訳		工事請負費		
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	関川地区新規加入者			
	施策	05 下水道の整備		意図（どのように）	汚水樹を設置します。			
事業の概要		新規加入者があった場合、汚水樹設置を行います。						
事業全体としての課題		分家住宅等新規加入者があった場合、樹設置工事を行わなければならないです。						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	樹設置工事		新規加入者		件	27	
		年度	平成24年度		平成25年度			
		目標値	2		2			
		実績値	1					
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	284	283		
	一般財源	578	0	72	262	104		
	実績額計	578	0	72	546	387		
	予算額計	578	0	72	546	387		
執行率		100%	%	100%	100%	100%		
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値	
	樹設置工事		新規加入世帯樹設置工事			件	1	
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）		
農集関川地区の分家に伴う新規加入者から分担金を納めていただき、樹設置工事を速やかに行います。						平成37年度		

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		下水道課		
事業名		668 特別会計繰出金		予算	会計	01 一般会計		
根拠法令					款	08 土木費		
					項	05 下水道費		
					目	01 公共下水道費		
				主な内訳		繰出金		
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまち へ（都市基盤）		顧客 （誰を）	下水道事業受益者			
	施策	05 下水道の整備		意図 （どのように）	特別会計の安定的な事業運営のため、財政支援を する。			
事業の概要				下水道事業特別会計の財政的安定を図るため、一般会計から資金を繰出して、安定した事業 運営に資する。				
事業全体としての課題				人口の減少傾向や少子高齢化に伴い、接続率が伸び悩んでいる。				
成果 指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標							
		年度	平成24年度		平成25年度			
		目標値						
	実績値							
事業計画		過年度 （決算額）	過年度 （決算額）	過年度 （決算額）	過年度 （決算額）	現年度 （予算額）		
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
財源 区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	1,210,000	1,277,913	1,650,000	1,119,300	1,308,009		
	実績額計	1,210,000	1,277,913	1,650,000	1,119,300	1,308,009		
	予算額計	1,344,480	1,371,292	1,650,000	1,206,300	1,308,009		
執行率		90%	93.19%	100%	92.79%	100%		
アウト プット	指標名		説明等			単位	実績値	
						件		
	負担金納付書作成回数		下水道負担金の納付書を作成送付する。			件		
ポンプ場運転管理・施設清掃回数		ポンプ場内の維持管理、清掃の実施			回			
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）		
下水道事業特別会計の財政的安定を図るため、一般会計から資金を繰出して、安定した事業運営に資 します。						平成37年度		

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		下水道課	
事業名		699 流域関連公共下水道整備事業（補助・ポンプ場）		予算	会計	05 下水道事業会計	
根拠法令		下水道法・下水道法施行令・石岡市下水道条例			款	01 下水道費	
					項	02 下水道建設費	
					目	01 流域関連公共下水道整備事業費	
				主な内訳		需用費, 委託料, 工事請負費	
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	下水道計画区域の市民		
	施策	05 下水道の整備		意図（どのように）	生活環境の改善		
事業の概要				長寿命化計画に基づき、ポンプ場の機械・電気設備の効率的な改築を進めます。			
事業全体としての課題				標準耐用年数を大幅に経過しているポンプ場施設をいかに効率的に改築していくかが課題となっています。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	生活排水処理総合普及率		処理区域人口／行政人口 処理区域人口：下水道，農業集落排水，合併浄化槽処理人口		%	平成37年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	100		100		
		実績値	75.94				
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	27,600	17,405	73,618	25,436	14,325	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	24,800	0	44,100	53,935	13,900	
	その他	0	0	32,482	31,763	1,896	
	一般財源	2,837	284	0	0	0	
	実績額計	55,237	17,689	150,200	111,134	30,121	
	予算額計	55,237	17,689	150,200	131,181	30,121	
執行率		100%	100%	100%	84.72%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	ポンプ場の改築		改築予定設備数 第1ポンプ場 第2ポンプ場			設備	1
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
ポンプ場施設の予防保全的な管理と計画的な改築・更新を行っていく。						平成37年	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		下水道課	
事業名		701 石岡西部地区整備事業		予算	会計	08 農業集落排水事業会計	
根拠法令					款	01 農業集落排水事業費	
					項	02 農業集落排水事業建設費	
					目	01 農業集落排水事業建設費	
				主な内訳		工事請負費	
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまち へ（都市基盤）		顧客 （誰を）	石岡西部地区新規加入者		
	施策	05 下水道の整備		意図 （どのように）	汚水樹を設置します。		
事業の概要		新規加入者があった場合、汚水樹設置を行います。					
事業全体としての課題		分家住宅等新規加入者があった場合、樹設置工事を行わなければならないです。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	樹設置工事		新規加入者		件	27
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	2	2			
		実績値	2				
事業計画		過年度 （決算額） 平成21年度	過年度 （決算額） 平成22年度	過年度 （決算額） 平成23年度	過年度 （決算額） 平成24年度	現年度 （予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	440	487	
	一般財源	2,709	1,030	835	47	0	
	実績額計	2,709	1,030	835	487	487	
	予算額計	2,709	1,030	835	475	475	
執行率		100%	100%	100%	102.53%	102.53%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	樹設置工事		新規加入世帯樹設置工事			件	2
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
農集石岡西部地区の分家に伴う新規加入者から分担金を納めていただき、樹設置工事を速やかに行います。						平成37年度	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		下水道課	
事業名		782 農業集落排水事業事務費		予算	会計	08 農業集落排水事業会計	
根拠法令		石岡市農業集落排水事業分担金に関する条例, 同 施行規則			款	01 農業集落排水事業費	
					項	01 農業集落排水事業管理費	
					目	01 農業集落排水事業総務費	
				主な内訳		負担金補助及び交付金	
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまち へ（都市基盤）		顧客 （誰を）	農業集落排水加入者		
	施策	05 下水道の整備		意図 （どのように）	接続率及び分担金の収納率向上。		
事業の概要		農業集落排水事業に要する費用の一部に充てる為、受益者分担金の徴収を行います。					
事業全体としての課題		農集排の普及については合併処理浄化槽が設置されているケースもあり、普及が進みません。 。過年度分担金賦課分については継続して未納になっているケースがあり、効率的収納を実現しなければなりません。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	農集排続率		接続世帯÷加入世帯		%	27
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	60	60			
		実績値	62				
事業計画		過年度 （決算額） 平成21年度	過年度 （決算額） 平成22年度	過年度 （決算額） 平成23年度	過年度 （決算額） 平成24年度	現年度 （予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	840	1,180	1,080	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	1,305	1,910	2,490	715	824	
	実績額計	2,145	3,090	3,570	715	824	
	予算額計	2,145	3,090	5,497	831	824	
執行率		100%	100%	64.94%	86.04%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
下水道建設工事の財源として、受益者負担金の収納率の向上は必要であり、収納率向上のため滞納者に対し戸別訪問等を実施し収納率の向上に努めます。						平成37年度	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		下水道課		
事業名		783 農業集落排水事業市債償還準備基金費		予算	会計	08 農業集落排水事業会計		
根拠法令					款	03 諸支出金		
					項	01 基金費		
					目	01 農業集落排水事業市債償還準備基金費		
				主な内訳		積立金		
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまち へ（都市基盤）		顧客 （誰を）	農業集落排水整備地区の市民			
	施策	05 下水道の整備		意図 （どのように）	起債償還の積立			
事業の概要		平成18年度から茨城県の財政悪化に伴い、20%の上乗せ補助が廃止された。市町村は起債額が増大し、償還額が従前と比して高騰する事になった。その償還の財源として、県支出金が平成19年度に創設された。						
事業全体としての課題		事業の方向性については、県の財政状況によるところが大きい。						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標							
		年度	平成24年度		平成25年度			
		目標値						
	実績値							
事業計画		過年度 （決算額） 平成21年度	過年度 （決算額） 平成22年度	過年度 （決算額） 平成23年度	過年度 （決算額） 平成24年度	現年度 （予算額） 平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	42,388	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	275	287	287		
	一般財源	0	0	0		0		
	実績額計	0	0	42,663	287	287		
	予算額計	0	0	42,663	287	287		
執行率		%	%	100%	100%	100%		
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値	
	農業集落排水事業市債償還準備基金		農業集落排水事業市債償還準備基金費			回	1	
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）		
事業の方向性については、県の財政状況によるところが大きい。						平成25年度		

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		下水道課	
事業名	6854 流域関連公共下水道元金償還費			予算	会計	05 下水道事業会計	
					款	02 公債費	
					項	01 公債費	
					目	01 元金	
根拠法令	下水道法・下水道法施行令・石岡市下水道条例			主な内訳	償還金利子及び割引料		
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまち へ（都市基盤）		顧客 （誰を）	下水道計画区域の市民		
	施策	05 下水道の整備		意図 （どのように）	起債の元金償還		
事業の概要				社会資本整備の便益が全ての世代で受けることから、係る費用も「現役世代」と「次の世代」が共に負担していく事は、起債の基本概念である。よって、起債における確実な元金償還を図る。			
事業全体としての課題				一般長期債元金は平成21年度をピークに減少傾向にあるが、一般会計からの繰入金が必要となります。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標					%	平成37年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値		100			
		実績値					
事業計画		過年度 （決算額） 平成21年度	過年度 （決算額） 平成22年度	過年度 （決算額） 平成23年度	過年度 （決算額） 平成24年度	現年度 （予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	1,041,555	1,07,95	96,700	92,200	262,100	
	その他	0	0	0	0	79,868	
	一般財源	0	0	513,880	503,078	262,350	
	実績額計	1,041,555	1,07,95	610,580	595,278	604,318	
	予算額計	1,041,555	1,07,95	610,581	595,278	604,318	
執行率	100%	100%	100%	100%	100%		
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
起債における確実な元金償還を図る。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		下水道課	
事業名	6857 流域関連公共下水道利子償還費			予算	会計	05 下水道事業会計	
					款	02 公債費	
根拠法令	下水道法・下水道法施行令・石岡市下水道条例				項	01 公債費	
					目	02 利子	
				主な内訳	償還金利子及び割引料		
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまち へ（都市基盤）		顧客 （誰を）	下水道計画区域の市民		
	施策	05 下水道の整備		意図 （どのように）	起債の利子償還		
事業の概要				社会資本整備の便益が全ての世代で受けることから、係る費用も「現役世代」と「次の世代」が共に負担していく事は、起債の基本概念である。よって、起債における確実な利子償還を図る。			
事業全体としての課題				償還利子は平成21年度をピークに減少傾向にあるが、一般会計からの繰入金が必要となっております。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標					%	平成37年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値					
		実績値					
事業計画		過年度 （決算額） 平成21年度	過年度 （決算額） 平成22年度	過年度 （決算額） 平成23年度	過年度 （決算額） 平成24年度	現年度 （予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	55,796	0	0	
	一般財源	468,000	424,791	190,132	234,595	226,813	
	実績額計	468,000	424,791	245,928	234,595	226,813	
	予算額計	468,000	424,791	246,798	235,336	226,813	
執行率		100%	100%	99.65%	99.69%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
起債における確実な利子償還を図る。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		下水道課		
事業名		6859 公共下水道元金償還費		予算	会計	05 下水道事業会計		
根拠法令					款	02 公債費		
					項	01 公債費		
					目	01 元金		
		主な内訳						
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまち へ（都市基盤）		顧客 （誰を）	下水道計画区域の市民			
	施策	05 下水道の整備		意図 （どのように）	起債の元金償還			
事業の概要		社会資本整備の便益が全ての世代で受けることから、係る費用も「現役世代」と「次の世代」が共に負担していく事は、起債の基本概念である。よって、起債における確実な元金償還を図る。						
事業全体としての課題		一般長期債元金は平成21年度をピークに減少傾向にあるが、一般会計からの繰入金が必要となっている。						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標							
		年度	平成24年度		平成25年度			
		目標値						
		実績値						
事業計画		過年度 （決算額） 平成21年度	過年度 （決算額） 平成22年度	過年度 （決算額） 平成23年度	過年度 （決算額） 平成24年度	現年度 （予算額） 平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	359,060	331,395	344,478		
	実績額計	0	0	359,060	331,395	344,478		
	予算額計	0	0	359,061	331,395	344,478		
執行率		%	%	100 %	100 %	100 %		
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値	
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）		
起債における確実な元金償還を図る。								

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		下水道課		
事業名		6861 公共下水道利子償還費		予算	会計	05 下水道事業会計		
根拠法令		下水道法・下水道法施行令・石岡市下水道条例			款	02 公債費		
					項	01 公債費		
					目	02 利子		
				主な内訳		償還金利子及び割引料		
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまち へ（都市基盤）		顧客 （誰を）	下水道計画区域の市民			
	施策	05 下水道の整備		意図 （どのように）	起債の利子償還			
事業の概要		社会資本整備の便益が全ての世代で受けることから、係る費用も「現役世代」と「次の世代」が共に負担していく事は、起債の基本概念である。よって、起債における確実な利子償還を図る。						
事業全体としての課題		償還利子は減少傾向にあるが、一般会計からの繰入金が必要となっている。						
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標							
		年度	平成24年度		平成25年度			
		目標値						
	実績値							
事業計画		過年度 （決算額） 平成21年度	過年度 （決算額） 平成22年度	過年度 （決算額） 平成23年度	過年度 （決算額） 平成24年度	現年度 （予算額） 平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	162,162	157,778	155,241		
	実績額計	0	0	162,162	157,778	155,241		
	予算額計	0	0	165,016	158,707	155,241		
執行率	%	%	98.27%	99.41%	100%			
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値	
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）		
起債における確実な利子償還を図る。								

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		下水道課		
事業名	6863 石岡地区元金償還費			予算	会計	08 農業集落排水事業会計		
					款	02 公債費		
根拠法令					項	01 公債費		
					目	01 元金		
				主な内訳	償還金利子及び割引料			
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	石岡市			
	施策	05 下水道の整備		意図（どのように）	石岡地区の起債の元金			
事業の概要				農集排起債元金償還。				
事業全体としての課題				起債元金が増加しています。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標							
		年度	平成24年度		平成25年度			
		目標値						
		実績値						
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	75,322	82,818	91,273		
	実績額計	0	0	75,322	82,818	91,273		
	予算額計	0	0	75,323	82,818	91,273		
執行率		%	%	100%	100%	100%		
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値	
	起債の償還		起債の償還			式	1	
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）		
起債における確実な元金償還を図る。								

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		下水道課		
事業名	6865 八郷地区元金償還費			予算	会計	08 農業集落排水事業会計		
					款	02 公債費		
					項	01 公債費		
					目	01 元金		
根拠法令				主な内訳	償還金利子及び割引料			
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	石岡市			
	施策	05 下水道の整備		意図（どのように）	八郷地区起債の元金償還			
事業の概要				社会資本整備の便益が全ての世代で受けることから、係る費用も現役世代と次の世代が共に負担していく事は、起債の基本概念である。よって、起債における確実な元金償還を図る。				
事業全体としての課題				償還元金が増加しています。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標							
		年度	平成24年度		平成25年度			
		目標値						
		実績値						
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	23,467	26,980	31,596		
	実績額計	0	0	23,467	26,980	31,596		
	予算額計	0	0	23,468	26,981	31,596		
執行率		%	%	100%	100%	100%		
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	起債の償還		起債の償還				式	1
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）		
起債における確実な元金償還を図ります。								

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		下水道課		
事業名	6868 石岡地区利子償還費			予算	会計	08 農業集落排水事業会計		
					款	02 公債費		
					項	01 公債費		
					目	02 利子		
根拠法令				主な内訳	償還金利子及び割引料			
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまち へ(都市基盤)		顧客 (誰を)	石岡市			
	施策	05 下水道の整備		意図 (どのように)	石岡地区起債の利子償還			
事業の概要				社会資本整備の便益が全ての世代で受けることから、係る費用も現役世代と次の世代が共に負担していく事は起債の基本概念である。よって、起債における確実な利子償還を図ります。				
事業全体としての課題				償還利子の軽減を図るため、借換え・繰上げ返済等の検討が必要です。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標							
		年度	平成24年度		平成25年度			
		目標値						
	実績値							
事業計画		過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)		
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	6,612		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	46,390	44,682	36,192		
	実績額計	0	0	46,390	44,682	42,804		
	予算額計	0	0	46,392	44,684	42,804		
執行率		%	%	100%	100%	100%		
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
							式	
今後の事業の方向性(改革改善案)						見直し年度(目標年度)		
起債における確実な利子償還を図ります。								

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		下水道課		
事業名	6870 八郷地区利子償還費			予算	会計	08 農業集落排水事業会計		
					款	02 公債費		
					項	01 公債費		
					目	02 利子		
根拠法令				主な内訳	償還金利子及び割引料			
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	石岡市			
	施策	05 下水道の整備		意図（どのように）	八郷地区起債の利子償還			
事業の概要				社会資本整備の便益が全ての世代で受けることから、係る費用も現役世代と次の世代が共に負担していく事は起債の基本概念である。よって、起債における確実な利子償還を図ります。				
事業全体としての課題				償還利子の軽減を図るため、借換え・繰上げ返済等の検討が必要です。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標							
		年度	平成24年度		平成25年度			
		目標値						
	実績値							
事業計画		過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	現年度（予算額）		
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	4,509		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	22,640	22,114	16,953		
	実績額計	0	0	22,640	22,114	21,462		
	予算額計	0	0	23,346	23,037	21,462		
執行率		%	%	96.98 %	95.99 %	100 %		
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
							式	
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）		
起債における確実な利子償還を図ります。								

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		下水道課	
事業名	65 霞ヶ浦浄化対策経費			予算	会計	01 一般会計	
					款	04 衛生費	
根拠法令	茨城県霞ヶ浦水質保全条例				項	01 保健衛生費	
					目	04 公害対策費	
				主な内訳	負担金補助及び交付金		
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ (生活・環境)		顧客 (誰を)	浄化槽設置者		
	施策	07 環境保全の推進		意図 (どのように)	高度処理合併浄化槽に設置替えの際に、補助金を申請によって、補助する。		
事業の概要				合併浄化槽の普及促進をします。			
事業全体としての課題				限られた予算のなかで、合併浄化槽の普及率を上げていかなければなりません。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	補助設置数		合併浄化槽補助設置数		基	27
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	135	135			
		実績値	95				
事業計画	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)		
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
財源区分	国庫支出金	17,040	21,266	14,313	19,330	21,040	
	県支出金	42,040	41,318	43,997	37,120	52,980	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	17,040	11,374	21,425	10,199	21,104	
	実績額計	76,120	73,958	79,735	66,649	95,124	
	予算額計	76,120	73,958	79,735	95,471	95,124	
執行率	100%	100%	100%	69.81%	100%		
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	補助設置数		合併浄化槽補助設置数			基	95
今後の事業の方向性 (改革改善案)						見直し年度 (目標年度)	
国や県に事業の維持及び拡充を要求し、浄化槽補助事業推進に努めます。						平成37年度	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		建築住宅指導課	
事業名	489 狭あい道路整備事業			予算	会計	01 一般会計	
					款	08 土木費	
					項	02 道路橋りょう費	
					目	03 道路新設改良費	
根拠法令	平成24年度石岡市狭あい道路整備事業実施要綱			主な内訳			
体系	政策	O1 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	狭あい道路の隣接地に建築する市民		
	施策	O3 道路の整備		意図（どのように）	事業費の一部を助成し狭あい道路を解消する		
事業の概要				セツバック（道路後退）が義務となる狭あい道路（市道）に接する土地に建築行為をする土地所有者に対し、当該道路後退部分の市への帰属（買取又は寄付）を前提として、分筆測量費及び工作物等の撤去費の一部を補助し、舗装工事を実施することで狭あい道路を解消します。			
事業全体としての課題				建築基準法第42条第2項により指定された道路（市道）に接する土地に建築行為がある場合のみ、当該土地所有者を対象とする補助事業のため、拡幅は局所的であり狭あい道路全体の解消には至っていない状況です。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	狭あい道路の隣接地に建築行為をする土地所有者の数		過年度実績による予測値		件	H25年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	12	8			
		実績値	18				
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	1,386	2,561	3,536	2,548	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	460	5,471	3,804	5,697	5,030	
	実績額計	460	6,857	6,365	9,233	7,578	
	予算額計	2,040	9,000	8,040	11,582	7,578	
執行率		22.55%	76.19%	79.17%	79.72%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	狭あい道路整備事業補助金の交付		後退用地の分筆測量及び工作物等の撤去に要する金額 過年度実績による予測値を目標設定			件	18
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
目標達成に向け適正に執行します。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		建築住宅指導課	
事業名		73 市営住宅維持管理経費		予算	会計	01 一般会計	
根拠法令		公営住宅法・石岡市営住宅管理条例			款	08 土木費	
					項	06 住宅費	
					目	01 住宅管理費	
				主な内訳		需用費(建物修繕, 備品修繕), 委託料	
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ(都市基盤)		顧客(誰を)	市営住宅の入居者		
	施策	07 住宅の整備		意図(どのように)	良好な住環境を提供します。		
事業の概要		市営住宅の適正な維持管理を行い, 入居者に対し, 良好な住環境を提供します。					
事業全体としての課題		市営住宅の老朽化に伴い, 維持管理費が増加します。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	市営住宅維持管理戸数		市営住宅606戸		戸	平成25年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	606	606			
	実績値	606					
事業計画		過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	149	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	32,627	34,710	27,979	29,142	29,148	
	一般財源	0	0	0	0	△2,334	
	実績額計	32,627	34,710	27,979	29,142	26,963	
	予算額計	33,277	36,093	30,719	34,324	26,963	
執行率		98.05%	96.17%	91.08%	84.9%	100%	
アウトプット	指標名	説明等				単位	実績値
	市営住宅管理人に対する報酬	市営住宅管理人に対する報酬				人	42
	建物修繕箇所数	市営住宅建物不良箇所の修繕				箇所	135
	備品修繕箇所数	市営住宅備品不良箇所の修繕				箇所	25
今後の事業の方向性(改革改善案)						見直し年度(目標年度)	
目標達成に向け適正に執行します。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		建築住宅指導課		
事業名	282 市営住宅長寿命化改修事業			予算	会計	01 一般会計		
					款	08 土木費		
					項	06 住宅費		
					目	01 住宅管理費		
根拠法令	石岡市営住宅長寿命化計画			主な内訳	工事請負費			
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	市民が入居する，全市営住宅。			
	施策	07 住宅の整備		意図（どのように）	計画的な改善事業を行います。			
事業の概要				ストック（中層住宅）のライフサイクルコストの縮減及び事業量の平準化を図るため，平成21年度に長寿命化計画を策定，社会資本整備総合交付金を活用して，計画的な改善事業を実施します。				
事業全体としての課題				建設後の経過年数及び老朽化の進展に伴い，予防保全的な管理・修繕の必要性が高まるとともに，今後，更新に係るコストの大幅な増加が見込まれていることから，長寿命化を図りその縮減につなげていくことが重要となっています。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
	最終目標	市営住宅長寿命化改修事業		修繕棟			棟	平成31年度
		年度	平成24年度	平成25年度				
		目標値	3	2				
		実績値	3					
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	26,523	24,880	26,520	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	32,400	24,800	0	0		
	その他	0	1,547	1,770	0	0		
	一般財源	0	0	0	29,787	0		
	実績額計	0	60,470	51,450	56,307	0		
	予算額計	0	60,470	51,486	96,290	0		
執行率		%	100%	99.93%	58.48%	%		
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	市営住宅長寿命化改修事業		一年間で実施する修繕棟数				棟	3
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）		
目標達成に向け適正に執行します。								

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		建築住宅指導課	
事業名	387 木造住宅耐震改修促進事業			予算	会計	01 一般会計	
					款	08 土木費	
根拠法令	石岡市木造住宅耐震診断士派遣事業実施要綱 建築物の耐震改修の促進に関する法律				項	01 土木管理費	
					目	02 建築指導費	
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	昭和56年5月31日以前に建築された戸建て木造住宅所有者		
	施策	07 住宅の整備		意図（どのように）	耐震の必要性を啓発し、耐震化率を向上させます。		
事業の概要				戸建て木造住宅所有者からの申し込みにより、茨城県木造住宅耐震診断士を派遣して耐震診断を行います。耐震診断と耐震補強工事の費用の一部を補助します。あわせて市内における商工業の活性化を図ります。			
事業全体としての課題				石岡市耐震改修促進計画で定めた目標の耐震化率を達成するためには、耐震改修の普及啓発、相談体制の整備や情報提供の充実を図ることが重要です。そのためには、耐震診断の必要性や補助事業の活用を周知し、耐震改修を実施し、被災時の既存木造住宅の被害の軽減を図ります。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	木造住宅耐震改修補助戸数		精密診断・耐震改修工事に対して補助を行う。		戸	平成26年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	10	10			
	実績値	0					
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	132	132	2,665	
	県支出金	0	0	54	54	67	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	16	16	20	
	一般財源	0	0	78	78	2,598	
	実績額計	0	0	280	280	5,350	
	予算額計	0	0	280	280	5,350	
執行率		%	%	100%	100%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	木造住宅耐震診断士受診戸数		木造住宅耐震診断士による耐震診断戸数			戸	8
	木造住宅耐震改修補助戸数		補助制度による耐震改修戸数			戸	0
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
目標達成に向け適正に執行します。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		建築住宅指導課	
事業名	674 木の住まい助成事業			予算	会計	01 一般会計	
					款	08 土木費	
					項	01 土木管理費	
					目	02 建築指導費	
根拠法令		平成24年度石岡市木の住まい助成事業補助金 交付要綱		主な内訳			
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客 （誰を）	自ら居住するための木造住宅（在来工法）を建築する市民及び市外転入者		
	施策	07 住宅の整備		意図 （どのように）	建築費の一部を助成し定住を促進する		
事業の概要				一定の要件に該当する市民及び市外からの転入者に対し、建築費用の一部を助成することで、定住人口の増加及び地域経済の活性化を図ります。			
事業全体としての課題				市外転入者からの申請が少ない状況にあります。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	市内における持家の着工件数		年度内における持家の着工件数		件	H25年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	300	300			
		実績値	327				
事業計画		過年度 （決算額） 平成21年度	過年度 （決算額） 平成22年度	過年度 （決算額） 平成23年度	過年度 （決算額） 平成24年度	現年度 （予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	1,250	3,500	5,000	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	1,250	3,500	5,000	
	実績額計	0	0	2,500	7,000	10,000	
	予算額計	0	0	5,000	10,000	10,000	
執行率		%	%	50%	70%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	木の住まい助成事業補助金の交付		1件当たりの補助限度額に補助予定件数を乗じた金額。助成要件に該当する対象者及び住宅の数を目標設定			件	20
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
目標達成に向け適正に執行します。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		建築住宅指導課	
事業名		762 賃貸住宅ストック事業		予算	会計	01 一般会計	
根拠法令		住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律			款	08 土木費	
					項	06 住宅費	
					目	01 住宅管理費	
				主な内訳		負担金補助及び交付金	
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	居住の安定に特に配慮すべき高齢者世帯・障害者等世帯・子育て世帯など		
	施策	07 住宅の整備		意図（どのように）	家賃補助を行うことにより、民間住宅の活用を推進し、中心市街地の活性化を目指します。		
事業の概要		交通網の利便性の高い石岡駅周辺の優位性を活かし、中心市街地内に存する民間住宅を活用して、高齢・障害・子育て世帯向け住宅として提供しこれらの入居者のうち、収入分位40%以下の世帯に対して家賃減額補助を行います。					
事業全体としての課題		既存賃貸住宅周辺の生活利便施設をさらに充実させる必要があります。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	ストック活用賃貸住宅入居戸数		制度利用による入居戸数		戸	平成25年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	20	20			
		実績値	17				
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	243	1,755	2,955	3,169	4,431	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	307	2,165	2,956	3,169	4,431	
	実績額計	550	3,920	5,911	6,338	8,862	
	予算額計	550	3,920	5,911	6,339	8,862	
執行率		100%	100%	100%	99.98%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	賃貸住宅ストック活用事業入居戸数		20戸			戸	17
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
目標達成に向け適正に執行します。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		建築住宅指導課	
事業名	490 宅地開発指導経費			予算	会計	01 一般会計	
					款	08 土木費	
根拠法令	都市計画法				項	04 都市計画費	
					目	01 都市計画総務費	
				主な内訳			
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	市街化区域内で大規模開発行為を実施する者 市街化調整区域内で開発行為を実施する者		
	施策	08 地域に調和した景観の整備		意図（どのように）	都市計画法に基づく処分・監督		
事業の概要				都市計画法に基づく開発許可業務を通じて、市内の無秩序な開発を抑制し、良好な住環境の整備を図るほか、完了検査率を向上させるため、許可証への通知文の添付と工事完了予定日の経過後にパトロールを実施している。			
事業全体としての課題				地方分権の推進によって、平成18年度よりまちづくり特例市として事務委任を受け許認可事務を掌っているが、県内における完了検査率が全国平均を下回っている状況にあることから、完了届の提出と受検が法的義務であることを周知し、受験を促す必要がある。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	完了届が法的義務であることの周知率		開発許可件数に対する完了検査の受検数		%	H24年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	90	90			
		実績値	131.3				
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	351	500	
	一般財源	305	430	365	0	△3	
	実績額計	305	430	365	351	497	
	予算額計	496	532	513	513	497	
執行率		61.49%	80.83%	71.15%	68.42%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	宅地開発指導による完了検査の受検		過年度実績による予測値を目標設定			件	21
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
目標達成に向け適正に執行します。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		建築住宅指導課	
事業名	574 建築指導事業			予算	会計	01 一般会計	
					款	08 土木費	
根拠法令	建築基準法、茨城県建築基準条例等				項	01 土木管理費	
					目	02 建築指導費	
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	建築計画のある市民もしくは既存建築物を所有する市民		
	施策	08 地域に調和した景観の整備		意図（どのように）	法令等に基づく行政指導		
事業の概要				違反建築の無い良好な住環境と都市景観を形成するため、法令等の規制に関する適切な情報提供及び当該規制に基づく適正な指導、並びに県（特定行政庁）との連携による違反防止及び是正措置を実施しています。			
事業全体としての課題				八郷地区には、平成4年9月1日の八郷都市計画区域決定がされる以前に建築された建築物が多数存在しており、当該建築物が建替え時期を迎えていることから、現行法に適合する計画となるよう指導する必要があります。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	年度内のパトロール実施件数		年度内における市内全域のパトロール実施件数		件	H25年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	60	75			
	実績値	74					
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	6,982	0	0	0	0	
	県支出金	22	22	12	13	1	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	12,871	399	567	435	677	
	実績額計	19,875	421	579	448	678	
	予算額計	21,191	799	694	694	678	
執行率		93.79%	52.69%	83.43%	64.55%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	建築士会によるパトロール		年度に2回実施（7月、2月）されるパトロール件数の合計値を目標設定			件	74
	茨城県建築指導課によるパトロール		隔年度に実施（4月）されるパトロール件数を目標設定			件	
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
目標達成に向け適正に執行します。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		建築住宅指導課		
事業名	6824 災害救助費			予算	会計	01 一般会計		
					款	03 民生費		
根拠法令					項	04 災害救助費		
					目	01 災害救助費		
				主な内訳	使用料及び賃借料			
体系	政策	O4 災害に強く安心して暮らせるまちへ（消防・防災）		顧客（誰を）	東日本大震災により被災し、民間賃貸住宅に入居している方。			
	施策	O2 防災機能の整備・強化		意図（どのように）	居住している賃貸住宅について、応急仮設住宅として借り上げ活用します。			
事業の概要				東日本大震災により避難した被災者が自ら民間賃貸住宅に入居している事例が少なくなく、また、避難所生活が長期化している状況のもと、被災者が自ら契約し居住している賃貸住宅の契約主体を市長に置き換え、応急仮設住宅として供与します。				
事業全体としての課題				民間賃貸住宅等を借上げて供与している応急仮設住宅の供与期間の延長について検討する必要があります。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	借上住宅数		22世帯		世帯	平成25年度	
		年度	平成24年度	平成25年度				
		目標値	22		22			
		実績値	17					
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	9,013	0		
	県支出金	0	0	0	0	9,388		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	0	143	0		
	実績額計	0	0	0	9,156	9,388		
	予算額計	0	0	0	9,333	9,388		
執行率		%	%	%	98.1%	100%		
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値	
	借上住宅数		22世帯			世帯	17	
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）		
目標達成に向け適正に執行します。								

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		建築住宅指導課	
事業名		6993 被災住宅復興支援事業		予算	会計	01 一般会計	
根拠法令		石岡市東日本大震災被災住宅復興支援事業補助金交付要綱			款	08 土木費	
					項	06 住宅費	
					目	01 住宅管理費	
				主な内訳		負担金補助及び交付金	
体系	政策	O4 災害に強く安心して暮らせるまちへ（消 防・防災）		顧客（誰を）	東日本大震災により被災した自己用住宅の補修等のため金融機関から資金融資を受けた方		
	施策	O2 防災機能の整備・強化		意図（どのように）	利子補給金を交付します。		
事業の概要				東日本大震災により自ら居住していた住宅に被災を受けた方に対して、被災した住宅の復興のために必要な資金の借入に係る利子について、利子補給金を交付します。			
事業全体としての課題				支援制度が多数あり、それぞれに対象となる被害認定基準に違いがあり、制度が複雑化しています。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	利子補給件数		制度利用による利子補給件数		件	平成25年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	30	30			
		実績値	8				
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	319	2,115	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	0	
	実績額計	0	0	0	319	2,115	
	予算額計	0	0	0	320	2,115	
執行率		%	%	%	99.69%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	利子補給件数		制度利用による利子補給件数			件	8
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
目標達成に向け適正に執行します。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		道路建設課	
事業名		69 道路管理事務費		予算	会計	01 一般会計	
根拠法令		道路法			款	08 土木費	
					項	01 土木管理費	
					目	01 土木総務費	
				主な内訳			
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	市民全般		
	施策	03 道路の整備		意図（どのように）	安全で快適な道路通行を確保させる		
事業の概要				道路台帳の整備。 道路・水路の境界立会い。			
事業全体としての課題				地方分権一括法による法廷外公共物の譲与に伴い維持管理事務が増えてきている。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	道路管理		新規路線・改良路線・廃止路線等の管理		件	26年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	96	30			
		実績値	96				
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	27	11	
	一般財源	10,427	4,882	11,741	9,633	13,132	
	実績額計	10,427	4,882	11,741	9,660	13,143	
	予算額計	13,734	4,883	12,800	9,911	13,143	
執行率		75.92%	99.98%	91.73%	97.46%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	道路台帳補正		毎年度4月1日現在の認定路線補正件数を目標設定			箇所	96
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
予算の状況を見て、道路台帳の一本化を行う。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		道路建設課		
事業名	70 一般市道整備事業（単独）			予算	会計	01 一般会計		
					款	08 土木費		
					項	02 道路橋りょう費		
					目	03 道路新設改良費		
根拠法令	道路法			主な内訳	工事請負費,委託料			
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）			顧客（誰を）	市民全般		
	施策	03 道路の整備			意図（どのように）	道路整備を行い市民の利便性を向上させる		
事業の概要				生活道路の舗装 道路排水施設の新設・改良				
事業全体としての課題				住民から毎年要望が提出されるが、限りある予算のなかでは、整備の箇所が限られてしまう。				
成果指標	項目	指標名			指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	道路の排水・舗装整備			市道の排水・舗装整備		箇所	平成24年度
		年度	平成24年度		平成25年度			
		目標値	45		56			
		実績値	45					
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度		
財源区分	国庫支出金	64,547	97,630	60,920	8,738	160,000		
	県支出金	0	2,800	0	0	0		
	地方債	0	0	1,000	10,400	0		
	その他	0	0	0	21,528	1		
	一般財源	293,730	85,816	235,696	223,880	269,280		
	実績額計	358,277	186,246	297,616	264,546	429,281		
	予算額計	421,204	274,354	321,464	316,119	429,281		
執行率	85.06%	67.89%	92.58%	83.69%	100%			
アウトプット	指標名		説明等				単位	実績値
	道路の排水・舗装整備		市道の排水・舗装整備				箇所	45
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）		
限られた予算の中で、必要性。緊急性の高い箇所から効率的・効果的に整備を行っていく。								

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		道路建設課	
事業名		283 地方道路等整備事業		予算	会計	01 一般会計	
根拠法令		道路法			款	08 土木費	
					項	02 道路橋りょう費	
					目	03 道路新設改良費	
				主な内訳		工事請負費, 委託料	
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまち へ(都市基盤)		顧客 (誰を)	市民全般		
	施策	03 道路の整備		意図 (どのように)	道路整備を行い市民の利便性を向上させる		
事業の概要				道路交通網の整備 生活環境の充実のため新設, 拡幅整備			
事業全体としての課題				住民から毎年要望が提出されるが, 限りある予算のなかでは, 整備の箇所が限られてしまう。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	道路の整備		道路改良延長		m	平成24年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	1,000	1,000			
		実績値	1,962				
事業計画		過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	137,000	143,000	81,500	49,000	269,900	
	その他	0	0	0	55,540	0	
	一般財源	7,283	17,538	102,639	85,906	30,000	
	実績額計	144,283	160,538	184,139	190,446	299,900	
	予算額計	259,800	240,500	294,129	181,290	299,900	
執行率		55.54 %	66.75 %	62.6 %	105.05 %	100 %	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	道路の整備		市道A0101号線外 7箇所			m	1,962
今後の事業の方向性(改革改善案)						見直し年度(目標年度)	
限られた予算の中で, 事業計画に基づき効率的・効果的に事業を進めていく。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		道路建設課	
事業名		285 道路橋りょう施設災害復旧費		予算	会計	01 一般会計	
根拠法令		公共土木施設災害復旧事業査定方針			款	11 災害復旧費	
					項	02 土木施設災害復旧費	
					目	01 道路橋りょう施設災害復旧費	
				主な内訳		工事請負費, 委託料	
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ(都市基盤)		顧客(誰を)	市民全般		
	施策	03 道路の整備		意図(どのように)			
事業の概要				災害時に迅速に復旧工事を行い、道路・橋りょう・河川等の安全性の回復を図る。			
事業全体としての課題				災害時に、道路・水路・橋りょう施設が被災した場合に速やかに復旧を行い、日常生活の利便性や交通の安全、円滑化を図るものであるが、自然現象であるために予測ができない。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	被災箇所の復旧					
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	0	0			
		実績値	0				
事業計画		過年度(決算額) 平成21年度	過年度(決算額) 平成22年度	過年度(決算額) 平成23年度	過年度(決算額) 平成24年度	現年度(予算額) 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	6,492	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	34,600	0	0	
	その他	0	0	0	63,405	0	
	一般財源	3	66,982	244,679	0	3	
	実績額計	3	66,982	285,771	63,405	3	
	予算額計	3	78,398	345,262	3	3	
執行率		100%	85.44%	82.77%	2,113,500%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
今後の事業の方向性(改革改善案)						見直し年度(目標年度)	
天災による被災は予測ができないため、市民生活への影響が最小限になるよう早急な復旧を行う。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		道路建設課	
事業名		384 道路一般事務費		予算	会計	01 一般会計	
根拠法令					款	08 土木費	
					項	02 道路橋りょう費	
					目	01 道路橋りょう総務費	
				主な内訳			
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	市民全般		
	施策	03 道路の整備		意図（どのように）			
事業の概要				道路行政全般に係る事務を行う経費。			
事業全体としての課題				厳しい財政状況の中事業規模の縮小			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	市民満足度		市民アンケート：道路の整備		点	平成26年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	3.28		3.28		
		実績値					
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	1,898	1,851	2,243	2,136	2,104	
	実績額計	1,898	1,851	2,243	2,136	2,104	
	予算額計	2,372	2,326	2,335	2,278	2,104	
執行率		80.02 %	79.58 %	96.06 %	93.77 %	100 %	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	土浦土木協会		総会 1回 幹事会 2回 研修会 2回			回	5
	石岡・かすみがうら広域幹線道路対策協議会		総会 1回 幹事会 2回 研修会 1回			回	4
	つくば市・笠間市間道路整備促進協議会		総会 1回 幹事会 2回 研修会 1回			回	4
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
道路維持のための現場事務所の適正な維持管理、及び各種協議会等への積極的な参加により、快適な道路環境整備に取り組んでいく。						平成27年度	

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		道路建設課	
事業名		483 橋りょう新設改良事業		予算	会計	01 一般会計	
根拠法令					款	08 土木費	
					項	02 道路橋りょう費	
					目	05 橋りょう新設改良費	
				主な内訳		負担金補助及び交付金	
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまち へ（都市基盤）		顧客 （誰を）	市民全般		
	施策	03 道路の整備		意図 （どのように）	橋梁の復旧を行い市民の安全性の回復させる		
事業の概要				老朽化により東日本太平洋沖地震で被災した天神橋こ線人道橋の架け替えを行い、市民の安全性の回復を図る。			
事業全体としての課題				事業費が大きいため、財源の確保が難しい。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	橋の架け替え		詳細設計 架け替え工事の発注		橋	25
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	1	1			
		実績値	1				
事業計画		過年度 （決算額）	過年度 （決算額）	過年度 （決算額）	過年度 （決算額）	現年度 （予算額）	
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	18,700	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	16,170	6,303	
	実績額計	0	0	0	16,170	25,003	
	予算額計	0	0	3	16,173	25,003	
執行率		%	%	0%	99.98%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	橋の架け替え		天神橋架け替えに伴う設計、工事の委託			橋	1
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
天神橋架け替え事業については、JR常磐線の跨線橋であることから、東日本旅客鉄道株式会社と十分協議を行い、効率的に事業を進めていく。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		道路建設課	
事業名		578 排水路整備事業		予算	会計	01 一般会計	
根拠法令					款	08 土木費	
					項	02 道路橋りょう費	
					目	06 排水路整備事業費	
				主な内訳		工事請負費, 委託料	
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ(都市基盤)		顧客(誰を)	市民全般		
	施策	03 道路の整備		意図(どのように)	排水整備を行い雨水等の被害を防止する		
事業の概要		排水路の改修・整備					
事業全体としての課題		住民から毎年要望が提出されるが、限りある予算のなかでは、整備の箇所が限られてしまう。					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	市民満足度				点	平成23年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	3.3		3.3		
		実績値					
事業計画		過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	過年度(決算額)	現年度(予算額)	
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	31,400	1,000	0	0	22,500	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	10,592	18,845	6,289	12,149	12,500	
	実績額計	41,992	19,845	6,289	12,149	35,000	
	予算額計	54,005	31,928	17,615	23,900	35,000	
執行率		77.76%	62.16%	35.7%	50.83%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	排水路の整備		排水路の整備延長			m	197
今後の事業の方向性(改革改善案)						見直し年度(目標年度)	
予算の範囲で、必要性・緊急性の高い箇所から優先して事業を行っていく。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		道路建設課	
事業名	670 道路維持経費			予算	会計	01 一般会計	
	根拠法令	道路法			款	08 土木費	
体系		政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		項	02 道路橋りょう費	
	施策	03 道路の整備			目	02 道路維持費	
				顧客（誰を）	市民全般		
				意図（どのように）			
事業の概要				道路パトロールによる日常的な道路の補修、及び業者発注による道路除草・道路修繕を行う。地元施工による生コン舗装・側溝蓋設置等への原材料支給			
事業全体としての課題				既設道路の老朽化が著しく、補修・修繕に多大な経費・労力が必要であるが、それに伴う予算・人的措置が不十分である。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	道路等の維持・管理		道路・水路の修繕、原材料支給箇所等		件	26年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	310	310			
		実績値	722				
事業計画		過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	過年度（決算額）	現年度（予算額）	
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	649	3,125	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	22,961	0	23,453	
	一般財源	122,172	107,251	136,550	199,322	146,444	
	実績額計	122,172	107,251	159,511	199,971	173,022	
	予算額計	125,646	143,526	159,736	207,547	173,022	
執行率		97.24 %	74.73 %	99.86 %	96.35 %	100 %	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	道路の維持管理・修繕		委託・工事発注件数			件	581
	原材料支給		生コン・側溝蓋等支給地区数			件	141
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
<p>補修要望について、年々増加傾向にあり、限られた予算の中ですべてに対処することが難しくなっていることから、補修箇所の現地測量及び復旧工法の精査により工事費の圧縮を行い、優先度の高い箇所から補修・改修を行っていく。</p> <p>原材料支給については、支給前に全要望箇所の調査を行っているため、地区の実情に則した必要量の配分を行う。</p>							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名		
				都市建設部		道路建設課		
事業名	671 橋りょう維持費			予算	会計	01 一般会計		
					款	08 土木費		
根拠法令	道路法				項	02 道路橋りょう費		
					目	04 橋りょう維持費		
				主な内訳	委託料			
体系	政策	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ（都市基盤）		顧客（誰を）	市民全般			
	施策	03 道路の整備		意図（どのように）	橋梁の維持・修繕を行い市民の利便性を高める			
事業の概要				道路パトロールによる日常的な橋りょうの補修、及び業者発注による道路除草・道路修繕を行う。 橋りょう長寿命化修繕計画策定のための予備調査を行う				
事業全体としての課題				既設橋りょうの老朽化が著しく、補修・修繕に多大な経費・労力が必要であるが、それに伴う予算・人的措置が不十分である。				
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度	
	最終目標	橋りょう長寿命化修繕計画の策定		橋りょう長寿命化修繕計画の策定橋りょう数		橋	25年度	
		年度	平成24年度	平成25年度				
		目標値	44	44				
		実績値	44					
事業計画		過年度（決算額） 平成21年度	過年度（決算額） 平成22年度	過年度（決算額） 平成23年度	過年度（決算額） 平成24年度	現年度（予算額） 平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	8,256	0		
	一般財源	0	5,775	0	4,096	3		
	実績額計	0	5,775	0	12,352	3		
	予算額計	3	6,003	8,277	13,198	3		
執行率		0%	96.2%	0%	93.58%	100%		
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値	
	橋りょう長寿命化修繕計画の策定		対象橋りょう数			橋	44	
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）		
橋梁長寿命化修繕計画が策定され、計画に則り橋梁の適切な維持修繕を行っていくとともに、修繕工法を精査し工事費の圧縮、工期の短縮に努める。								

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		道路建設課	
事業名		178 交通安全施設整備事業		予算	会計	01 一般会計	
根拠法令		道路法			款	08 土木費	
					項	02 道路橋りょう費	
					目	03 道路新設改良費	
				主な内訳		工事請負費	
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ (生活・環境)		顧客 (誰を)	市民全般		
	施策	01 交通安全の推進		意図 (どのように)	交通安全施設の整備を行い市民の利便性を高める		
事業の概要				歩行者や自転車が安全で快適な移動を可能にするため、歩道新設・既設歩道改修を行う。車両が安全に通行できるよう、施設整備を行う。			
事業全体としての課題				住民から毎年要望が提出されるが、限りある予算のなかでは、整備の箇所が限られてしまう。			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	市民満足度		市民アンケート：交通安全の推進		点	平成23年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	2.95		2.95		
		実績値					
事業計画		過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	過年度 (決算額)	現年度 (予算額)	
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	4,830	0	
	一般財源	10,471	9,492	24,024	8,814	10,000	
	実績額計	10,471	9,492	24,024	13,644	10,000	
	予算額計	21,000	31,927	32,300	9,270	10,000	
執行率		49.86%	29.73%	74.38%	147.18%	100%	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	交通安全施設整備		市道の交通安全施設整備			箇所	6
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
限られた予算の中で優先度の高い箇所から効率的・効果的に整備を進める。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		道路建設課	
事業名	484 河川事務費			予算	会計	01 一般会計	
					款	08 土木費	
根拠法令	河川法				項	03 河川費	
					目	01 河川総務費	
				主な内訳	負担金補助及び交付金		
体系	政策	03 人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ (生活・環境)		顧客 (誰を)	市民全般		
	施策	07 環境保全の推進		意図 (どのように)	良質な河川環境の構築を図る		
事業の概要				河川整備全般にかかる協議会等への負担金			
事業全体としての課題				良質な河川環境の構築を目指して設置された各種協議会等への負担金			
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	河川関係各種協議会		協議会参加延べ人数		人	26年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	15	15			
		実績値	8				
事業計画	過年度 (決算額) 平成21年度	過年度 (決算額) 平成22年度	過年度 (決算額) 平成23年度	過年度 (決算額) 平成24年度	現年度 (予算額) 平成25年度		
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	1	
	一般財源	319	347	388	350	415	
	実績額計	319	347	388	350	416	
	予算額計	343	377	411	472	416	
執行率	93%	92.04%	94.4%	74.15%	100%		
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	協議会等への参加		協議会参加人数			人	8
今後の事業の方向性 (改革改善案)						見直し年度 (目標年度)	
同盟会や協会を通じて河川環境整備事業促進のための要望活動や水防思想の啓発活動を行っていく。							

平成25年度事務事業評価シート

新規		廃止		担当部		課名	
				都市建設部		道路建設課	
事業名		179 急傾斜地崩壊対策事業		予算	会計	01 一般会計	
根拠法令		公共土木施設災害復旧事業査定方針			款	08 土木費	
					項	03 河川費	
					目	01 河川総務費	
				主な内訳		負担金補助及び交付金	
体系	政策	O4 災害に強く安心して暮らせるまちへ（消 防・防 災）		顧客 （誰を）	指定地域内に居住する市民		
	施策	O2 防災機能の整備・強化		意図 （どのように）	危険箇所の整備を行い市民の安全性を高める		
事業の概要		急傾斜地崩壊対策事業への負担金					
事業全体としての課題		急傾斜地崩壊危険箇所指定地域（傾斜度30度以上、高さ5m以上、人家5戸以上）の災害防止施設の整備					
成果指標	項目	指標名		指標設定の考え方及び算式		単位	達成年度
	最終目標	災害防止施設の整備		災害防止施設の延長 （7カ年計画・2年度～27年度）		m	27年度
		年度	平成24年度	平成25年度			
		目標値	385	385			
		実績値	229				
事業計画		過年度 （決算額） 平成21年度	過年度 （決算額） 平成22年度	過年度 （決算額） 平成23年度	過年度 （決算額） 平成24年度	現年度 （予算額） 平成25年度	
財源区分	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	3,190	3,200	7,860	3,288	3,000	
	実績額計	3,190	3,200	7,860	3,288	3,000	
	予算額計	3,190	3,500	8,000	3,900	3,000	
執行率		100 %	91.43 %	98.25 %	84.31 %	100 %	
アウトプット	指標名		説明等			単位	実績値
	災害防止施設の整備		災害防止施設延長			m	30
今後の事業の方向性（改革改善案）						見直し年度（目標年度）	
県へ整備予定箇所の早期完成を要望していく。							